

農業食料工学会 食料・食品工学部会第5回シンポジウム（2021/4/23 開催）

「post/with コロナ時代の日本の食品産業の将来を支える人材の育成を考える」

現在、我が国は人口減少傾向にあり、今後もその流れは加速度的に進むと考えられる。あらゆる産業において、人工知能をはじめとした先端技術が導入され始めているものの、それを円滑にオペレーションするための人材育成・活用・確保は、どの分野においても極めて重要な課題である。農業生産から加工・流通、外食までを網羅する食品関連産業においても、近年のスマート農業、スマートフードチェーン政策の号令のもと、これまでにない革新的技術の開発導入といった大きなパラダイムシフトの最中にある。また、コロナ禍は期せずしてデジタルトランスフォーメーション（DX）の波を加速させ、これによって非接触・非密集を基本とした新たな農・食ビジネスの勃興も期待される。このような情勢に柔軟に対応できる人材の育成が喫緊の課題である。

そこで令和3年度の食料・食品工学部会シンポジウムでは、次代の食品産業を支える人材の育成や確保に焦点を絞り、行政的な施策のみならず、先進的な取り組み例とその成果について、経験豊富な識者を講師にお招きし、ご講演頂くこととした。本シンポジウムを通じて、既成概念にとらわれないDXやニューノーマルといった時代変革に対応するための方策やヒントを参加者各位と共有し、今後の食品関連産業界活動の活性化に活かして頂ければ幸甚である。

主催：農業食料工学会

後援：農業施設学会、日本生物環境工学会、（公社）日本冷凍空調学会、（公社）日本食品科学工学会、（一社）園芸学会、農産物流通技術研究会、北海道／東北／関東／関西／九州農業食料工学会

開催日時：令和3年4月23日（金）13:00～16:45

会場：Zoomによるリモート開催

講演プログラム

司会進行：田中良奈（部会幹事・九州大学）

13:00～13:10 開会挨拶：濱中大介（実行委員長・鹿児島大学）

講演会座長：濱中大介

13:10～13:45 農林水産省が考える農業生産・食品産業における人材育成の取り組み
～農山漁村における起業支援を通じた人材育成の取り組み～

農林水産省大臣官房政策課 企画官 大曲英男氏 企画専門官 巻田和丈氏

13:45～14:20 大学ベンチャーや起業分野における人材育成の取り組み
～人や組織が育つ”場”の設計～

SFC フォーラムファンド 廣川克也氏

14:20～14:30 休憩

- 14:30～15:05 食品の品質管理分野における人材育成の取り組み
三菱総研 氷川珠代氏
- 15:05～15:40 農業生産・流通分野における人材活用・育成の取り組み①
～スター農家クラウドを活用した農家の組織作りについて～
(株)クロスエイジ 藤野直人氏
- 15:40～16:20 農業生産・流通分野における人材活用・育成の取り組み②
～次世代に残す、持続可能な社会づくりへの貢献を目指して～
(株)エムスクエア・ラボ 加藤百合子氏
- 16:20～16:40 全体的な質疑応答（実行委員）
- 16:40～16:45 閉会挨拶（学会関係者）

参加方法：下記の URL あるいは QR コードにてアクセスし、必要事項を記入して参加申し込みしてください。確認メールと、参加費の振込先情報を送信します。登録が確認されたメールに、4月21日にシンポジウムの Zoom の URL を送信します。

URL: <https://forms.gle/sTbDMHPdCfBbmLmr8>

QR コード



参加費： 会員（後援団体会員を含む）無料、非会員 3,000 円
（一社）農業食料工学会への体験入会の申し込みも受け付けます（体験入会費は 3,000 円の予定）。体験入会希望の場合は、入会手続きに関する書式を学会本部からお送りいたします。その後、書式に必要事項をご記入の上、学会事務局にご返信ください。

問合せ先：農業食料工学会 食料・食品工学部会運営委員
濱中大介（鹿児島大学／准教授）
Tel. 099-285-5558, E-mail: [hamanaka\(at\)agri.kagosima-u.ac.jp](mailto:hamanaka@agri.kagosima-u.ac.jp)
(at)を@に置き換えてください